

2024年7月20日

2024年度埼玉県支部年次大会・CPD講演会の実施報告

公益社団法人日本技術士会埼玉県支部

1. 開催日時:2024年7月20日(土)13:30~18:50
2. 開催場所:新都心ビジネス交流プラザ4階 B/D 会議室  
〒338-0001 さいたま市中央区上落合 2-3-2(TEL048-830-3908)
3. 参加人数:43名(講師及び随行者計2名、協賛団体参加者4社5名、来賓2名、事務職員1名含む)
4. 実施記録

4.1 第一部 年次大会(13:30~15:35) 司会:中田よしみ幹事

4.1-1 開会挨拶及び埼玉県支部活動方針の説明

石田正雄支部長から挨拶があり、埼玉県支部モットーの「技術の力で地域の発展に貢献する」を最大化すると述べられた後、県支部の概要、昨年度支部活動実績、2024年度活動計画について話された。

次に、前年度開催の「次の10年の支部活動を考える」をテーマとした意見交換会(3回)の内容が示され、地域社会に認知され中小企業のイノベーションが支援できる埼玉県支部を目指すという目標とそのマイルストーンが紹介された。実施はチーム埼玉県支部で活動するよう要請され、県支部PR動画の紹介もなされた。

4.1-2 来賓挨拶

日本技術士会副会長兼総務委員長である小林政徳氏より挨拶があり、今後は関東甲信8県支部との交流を深めていくこと、活動を行うためには予算が必要なので一緒に考えていきたいこと、各支部で予算を増やすためには会員数を増やせばよいので会員倍增計画を実施してみたい旨の話がなされた。チーム埼玉県支部の活動は素晴らしく、関係省庁等と協調するとよい等のエールを戴いた。

4.1-3 委員会活動の前年度実績報告と今年度計画

1)委員会毎に、前年度活動実績と今年度(2023年度)計画が報告された。

- ・総務企画委員会:白岩信裕委員長から総務委員会の役割、前年度実績と今年度計画が報告された。
- ・支部会計報告:菅原宏会計担当から前年度の支部会計実績と今年度予算について報告された。
- ・CPD委員会:菅原宏委員長からCPD行事の前年度実績と見学会のライブ配信等の新しい企画を含む今年度計画が報告された。
- ・科学技術振興委員会:中田よしみ委員長から委員会のミッション、理科実験教室などの前年度実績と今年度計画が報告され、委員会への会員の積極的な参加が呼びかけられた。
- ・地域産業支援委員会:近藤孝委員長から委員会の所轄と活動のポイント、前年度実績と今年度の重点施策について報告された。
- ・地域活性化委員会:若林直樹委員長から東部・西部・北部地域の小委員会の前年度実績、新たに設置した防災支援グループの活動を含む今年度計画と委員会の今後の課題について報告がなされた。

2)フリーディスカッションが実施された。

- ・前年度は参加費収入減が支部収入減につながった。そうならないよう今年度は予算通り活動して欲しいとの要望があった。
- ・前回年次大会よりも活動実績が分かり易くなっている。今後は達成度を示すようにとの意見があった。

4.2 第二部 CPD 特別講演会(15:45~16:55) 司会:中田よしみ幹事

4.2-1 講演「プラスチックリサイクルと最新技術について」

講師:埼玉産業人クラブ西海記念賞受賞 日本シーム株式会社 営業本部 鈴木大輔氏

先ず講師自己紹介と会社業容の紹介があり、次にプラスチックのリサイクルの現状と今後について、リサイクルの工程と設備とそれに係る最新技術が、動画を交え説明された。

1) 今はリニアエコノミー(線型経済)からサーキュラーエコノミーへの移行期間である。

3R+代替品の解決策の中で、プラスチックをごみとしないリサイクルの一つであるマテリアルリサイクルは、洗浄粉碎工程と選別工程が大事と考えている。プラスチック混合物をリサイクルするのは高度な技術(工程制御)で、状況に応じて個別に対応する必要がある。

2)リサイクル技術と処理機の性能を映像等で紹介する。

紹介機種は、洗浄粉碎機(摩擦粉碎、粒度分別、薄物処理可)、洗浄脱水機(上昇巻流、汚水分離)、プラ洗ユニット(小型洗浄粉碎・脱水機)、なるとハリケーン型選別機(水流選別)、水槽式比重選別機である。

リサイクルの新技术として脱墨を紹介する。脱墨とは薬剤でインクを膨潤し、機械攪拌で分離することをいい、攪拌速度を変えるといろいろなもの(プラスチック)から脱墨できる。

3) 農業用フィルムでは、燃料に変えるなどサーマルリサイクルが上手くいっている。プラスチックのリサイクルには様々なソリューションがある。新たな価値を与えるリサイクル(アップサイクル)がよいと考え、イベントを開きPET ボトルキャップ粉碎品を射出成型によりオリジナル品に成形し、子供向けに紹介している。

#### 4) 質疑応答(Q&A)

・Q: PET ボトルキャップはボトル側に残ることがあるが、キャップと分別する価値がありますか？

A: 分別することでいくつかのリサイクル工程が減らせます。キャップの残りは取り除けます。

・Q: 脱墨後のインク廃液の処理はどうするのですか？

A: 廃水の処理は別途行う必要があります。色によっては透明化する技術があります。

#### 4.2-2 閉会挨拶

近藤孝副支部長から講演に対し謝辞が述べられ、年次大会の閉会が告げられた。その後、参加者全員で記念写真を撮影した。

#### 4.3 懇親交流会(17:20~18:50)

司会: 村山肇幹事

年次大会に出席された多くの方が交流会に参加され、懇親が深められた。

近藤孝副支部長の開始宣言後、本部総務委員会小川博士氏の挨拶と乾杯の音頭を経て交流が活発に行われた。中締めは白岩信裕副支部長が行った。

#### 【大会の開催状況(写真)】



開会挨拶: 石田正雄



来賓挨拶: 小林政徳氏



講演: 鈴木大輔氏



閉会挨拶: 近藤孝



司会: 中田よしみ



会場風景



CPD 講演風景



参加者集合写真

(写真:地域活性化・CPD委員 近藤訓、記録:CPD 委員 速川敦彦)